

表1を見ると参加者の傾向として、「食」と「参加交流」がからむメニューに人気が集中していることがわかります。また、表3からは、体験メニューに食を含むものが含まないものに比べ、参加者が平均4割増しという結果がでてきます。体験メニューの中には、ものづくり、創作作業をメインにしたものもあり人気メニューもあります。が、全体的には、参加者が少ない現状です。このことから単に作るだけのメニューではなく、作ったものを使って料理をしたり、食を主に行っている体験メニューと組み合わせるメニューを企画することが参加者を呼び込むポイントになると思われます。



ポイント「食」と「参加交流」にあり

ちょっとした工夫で
付加価値を

数字から見ると、1メニューあたり6人程度の参加があり、約1万円の参加料が主催者に収入として入ってきています。これだけ見ると、メリットを感じられないかもしれませんが、これに主催者が作った作品を販売したり、すぐ近くの特産品販売所などを紹介したりすることでプラスアルファの効果がでています。

ポイントを踏まえ、体験メニューの組み合わせの提案・調整を積極的に行い、参加率の向上につなげていきたいと思っています。

メニューの組み合わせの一例

- 里呼織り工房の卓布づくり+エトピリカのお正月用苔玉づくり。だんご汁や手づくりハーブティーでおもてなし。
- 三軒茶屋を利用し、2階スペースでは和裁体験や折り紙体験、1階では地元産の食材を使った食事を提供。

さとやま博の体験メニュー

Voice of the sponsor

主催者の声

これまで体験メニューを主催した皆さんの率直なご意見です。

●自分流で行っている活動が、皆さんにどのように入力されているのか、がわかり良かったです。

●素人が人を集めてお金をいただくなんて思っています。が、とてもありがたいです。

●新しい出会いや縁を結ぶ機会になり、今後も継続していきたいです。

●体験メニューを催せば自分も楽しいので、それを伝えたいですね。

●体験メニュー主催者が増えるためには、さとやま博をしっかりPRすることだと思っています。

●やってみて足りない部分、がわかり勉強になったので、次に生かしていきたいです。

●自分たちのやっていることを理解して参加いただけるのでとてもうれしいです。

●さとやま博を多くの人に知ってもらう、参加してもらう、宣伝してもらったことが必要だと思います。

●体験メニューの成功例の発信が必要だと思います。お客様と楽しみを分かち合うことが喜びにつながります。

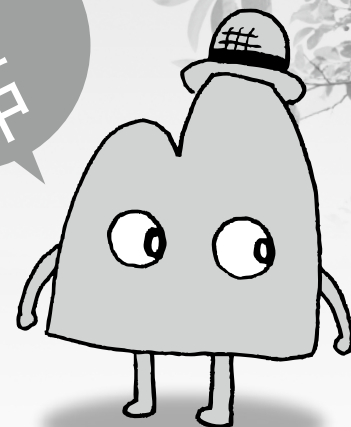


みつけ体験・「さい」発見! 庄原さとやま博

商工観光課 ☎0824-73-1177

昨年10月3日の開幕から約4カ月が経過しました。今回は、これまで開催した体験メニューやイベント、その参加状況などをデータで振り返り、新しい体験メニューの作成やイベント展開のヒントを探っていきます。

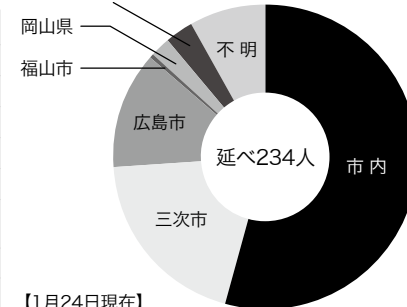
開催中



体験メニュー参加者の内訳

参加地域	人数	割合
市内	127	54.3%
三次市	46	19.7%
広島市	29	12.4%
福山市	1	0.4%
岡山県	5	2.1%
県内 (庄原・三次・広島・福山を除く)	7	3.0%
不明	19	8.1%
合計	234	100.0%

県内
(庄原・三次・広島・福山を除く)



【1月24日現在】

【表1】

種類	実施数	参加者数	平均参加者数
自然	1	4	4.0
クラフト	18	87	4.8
農林	3	9	3.0
食	17	116	6.8
参加・交流	9	69	7.7
学び	0	0	-
合計	48	285	5.9

※実施数・参加者数は、種類が重複したものも含めています。

【表2】

実施形態	メニュー数	参加者数	平均参加者数
単発(1種類のみ)	31	185	6.0
複合(数種類)	8	49	6.1

【表3】

メニューの中に	メニュー数	参加者数	男	女	平均参加者数
食を含む	16	114	33	81	7.1
食を含まない	23	120	35	85	5.2

開幕からこれまで(1月24日現在)、体験メニューを主催した個人および団体の数は43。企画された秋と冬の体験メニューは96種類(秋42・冬54)。その内実施されたものは、現在実施中のメニューを合わせて

39種類。参加人数は234人(現在実施中のものを除く)となっています。参加者を地域別で見ると市内からと市外からの参加者がほぼ同じ割合、男女比では、約7割が女性となっています。

体験メニュー参加者は234人

クリスマストレインで行く

ウインター
イルミネーションの旅

『光のまち』しょうばらへ出発進行！

『庄原ウインターイルミネーション・クリスマストレイン2010』実行委員会
が主催したモニターツアー。JR需要の把握と利用促進を図る目的で広島市
周辺の都市部住民を対象に企画された、冬のさとやま博関連イベント。

約2時間の列車の旅は、カラフルな色の風船を使ったバルーンアートの実演やアコーディオン演奏、サンタクロースによるビンゴゲームなどのイベントや演出で参加者を楽しませ、同乗したキョロやまくんもクリ



クリスマス模様にしきれいに飾りつけられたクリスマストレインは、家族連れやカップルなどを乗せ、14時、駅長の合図とともに広島駅を出発。



12月25日、特別列車「クリスマストレイン」が95人を乗せ、広島駅から庄原へ向け出発。列車は、一般車両に特別車両を連結した4両編成。



参加者は駅に待機していたバス3台に分かれて乗り込み、すぐさま備北丘陵公園へ。



三次駅を過ぎ、いよいよ庄原駅に近づくと、雪が舞い始めると、子どもも大人もはしゃぎだし、辺り一面にうっすら積もった雪景色を、窓の外に身を乗り出すように眺めていました。



ス마스パーティーと一緒に盛り上げました。また、列車内で試食販売された、市内産のバターケーキなども好評でした。

公園でのプランはここで終了。名残惜しそうにバスに乗り込んだ一行は、上野公園や市役所周辺のホワイトイルミネーションを車窓から見学し、三次駅から20時59分発の広島駅行き特別列車で、帰途に就きました。



その後、公園北口にある展望レストラン「くにかね」でバイオリンとギターの演奏を聴きながら、地元食材を使ったクリスマスディナーバイキングを堪能し、クリスマスの楽しいひとときを過ごしました。

50万球の光が織り成す感動的な「ウインターイルミネーション2010」を見学。全国的にも人気の高いイルミネーションをゆつくり楽しみました。

グループなどを
参加対象にした
体験メニューの取り組み

観光公社設立準備室では、集客力のある旅行会社と連携し、参加する側が求める内容に応じて、企画・調整する体験メニュー（オーダーメニュー）を実施しています。

準備室が行うオーダーメニューは、グループや団体を対象とすることにより多くの方が参加でき、観光消費額の増大が期待できます。庄原市の良さ、体験メニューの面白さをたくさんの人に知ってもらう。また、参加した人が知り合いに話をする。聞いた人が興味を持って参加する。こういった広告塔（クチコミ）の効果もねらっています。

主役は市民の皆さんです

庄原さとやま博では、体験メニューのほかにも既存イベントや新たな企画イベントを連携させた一体的な取り組みに力を注いでいます。体験

体験メニューレポート
experience menu report

口和町の古民家「わたりや」で12月19日、「そば打ち体験」が実施されました。

この日は、三次市などから6人が参加しそば打ちに挑戦！口和そばの会の三吉龍次さんを講師に迎え、そば粉を練るところから、切つてめん仕上げるまでを指導してもらいました。

1人1玉を打つ本格的なそば打ちに、最初戸惑っていた参加者も、三吉さんの丁寧な指導で徐々にコツをつかんだ様子で、楽しみながらそばを打ち終えました。

早速、打ち上がったそばを全員で試食。思った以上においしくできた「家でも作れそう」などと、そばの出来を自己評価しながら味わっていました。

オススメの体験メニュー
紹介リレー

塩飽ガラス工房ポレポレで
グラスづくり体験



塩飽新一さんの個性豊かなガラス工房で、オリジナルのグラスを作ってみませんか。



自宅の中は、空き缶で作った時計や手づくり家具などユニモア溢れる作品が盛りだくさんです。

とき 2月13日(日)・17日(木)12時〜13時30分
ところ 塩飽ガラス工房ポレポレ(総領町)

参加者は「1人ずつしっかり指導してもらえたのが良かった」「交流が楽しかった」など満喫した様子。中には「そば粉はどこに売ってるの?」と尋ね、口和産そば粉を求めに走る参加者もいました。

主催した寺内哲子さんは「そば打ちを通して参加者の皆さんと交流でき、とても楽しかった」と話し、次回の開催にも期待を寄せていました。

次回開催日 2月20日(日)10時30分〜14時

ところ わたりや(口和町)
料金 3000円(昼食込)

定員 1人〜8人
料金 3000円
※料金は保険料を含みます

今回は、塩飽新一さんの紹介で「口和郷土資料館」音の里、口和で懐かしい音と映像の体験です。お楽しみに。

体験メニューの申し込みは、庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室(0824-755-0173)まで。
ホームページ <http://shobara-satoyama.jp>